

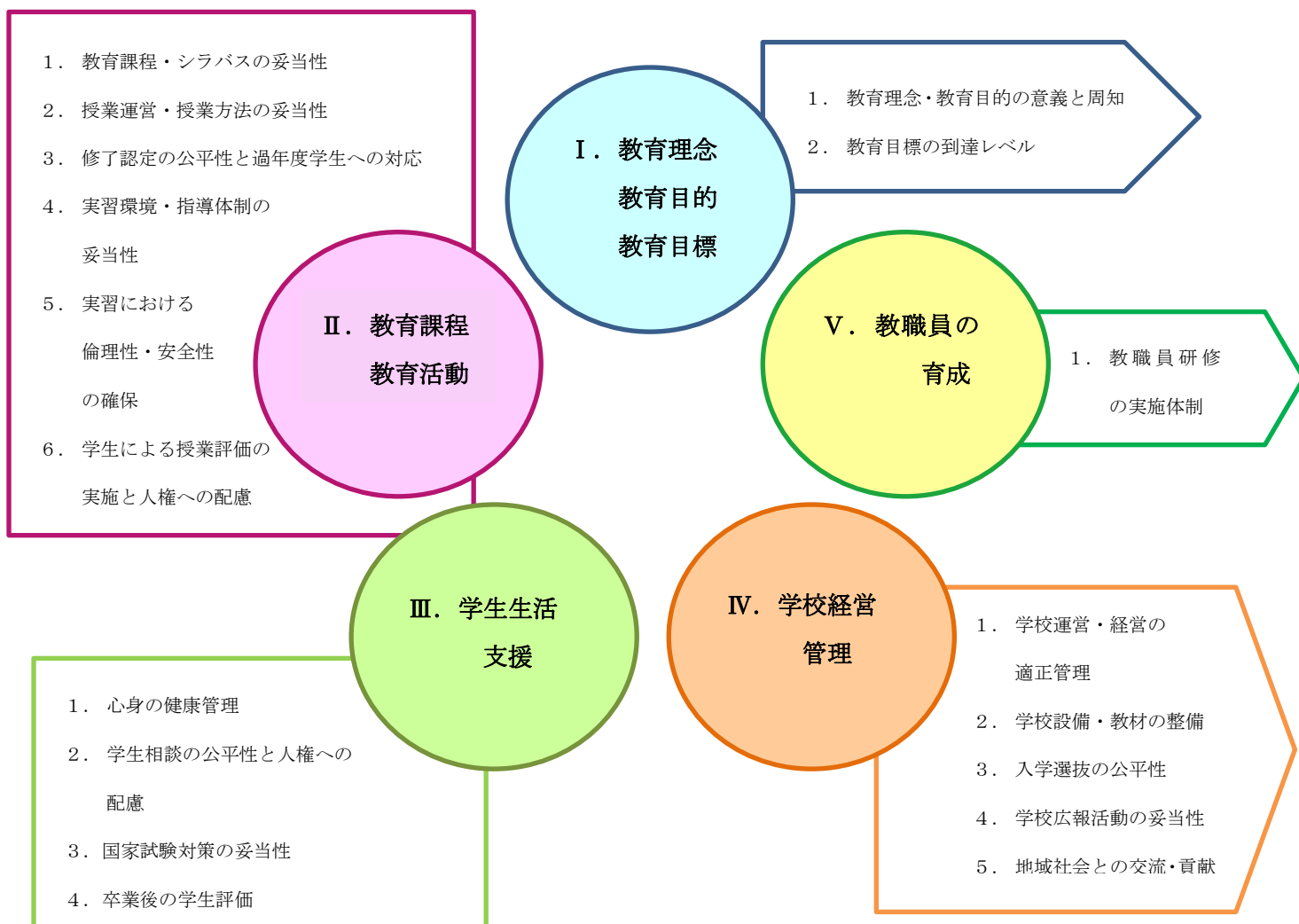
《学校自己点検・自己評価のねらい》

本校の看護基礎教育は、3年課程である第1学科は20年目、2年課程である第2学科は40年目を迎え、2年課程は3月31日をもちまして閉課程となりました。准看護教育を含めると半世紀に及び教育活動を続けており、確かな実績と伝統に支えられ今日まで継続できたのも、本校を支えてくださった皆様のおかげであると感謝申し上げます。今後は、第1学科のみの教育となり、「看護学科」と変更いたします。地域社会や保健医療福祉領域に貢献する優れた看護師を育成するためにも、看護学校として質の高い教育体制を確立し、学生にとって学習しやすい環境を整えることが重要だと考えています。

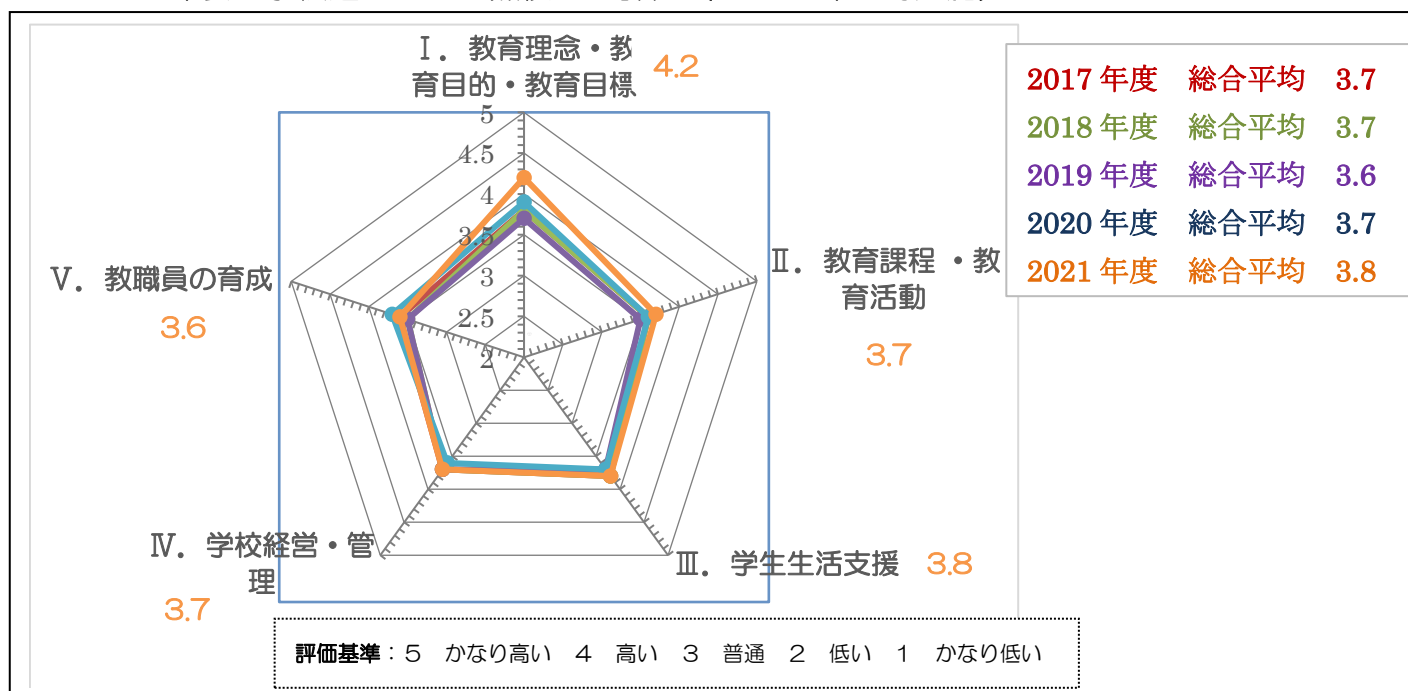
本校では時代の趨勢を見極めながら看護教育水準の向上を図るために、平成18年度から自己点検・自己評価委員会を発足させ、授業評価のあり方から議論を重ねてきました。そして、平成24年度から学校組織全体を総合的に「自己点検・自己評価」し、その結果を公開しています。

本校の基本理念である「人類愛」を実現し、「愛し愛される看護師」を育てるために、地域の皆さまや患者様から、また看護師を目指す若者・ご家族の皆さまから信頼され、「開かれた魅力ある学校づくり」を目指しています。本校の教育活動その他の運営状況について客観的に評価を行い、良い面はさらに伸ばし、また改善すべき点は明確にして、看護教育活動のさらなる向上を目的に努力し続けていく学校を目指し続けていきます。

《学校自己点検・自己評価の評価項目》



2021年度 学校運営 自己点検自己評価（2022年1月実施）



2021年度、教職員による自己点検・自己評価の総合平均点は、3.8で昨年より0.1上昇しました。特に、大項目の【I. 教育理念・目的・目標】4.2と0.3の上昇で、【II. 教育課程・教育活動】3.7【II. 教育課程・教育活動】3.8【III. 学生生活支援】3.8【IV. 学校経営・管理】3.7ですべての項目が0.1上昇し、【IV. 教職員の育成】は昨年度と同等で3.6でした。特に今年度は、【I. 教育理念・目的・目標】の項目が4.2と高得点でした。これは、新カリキュラムの構築のためのカリキュラム検討会を何度も実施し、次年度の新カリキュラムを完成させたことによるものと考えます。経験のある教員は、指定規則を踏まえたより良いカリキュラムを構築し、新入教員は、本校のカリキュラム検討会の報告を聞き、新カリキュラムの意図しているところ等をカリキュラム作成段階から経験できたことが大きな要因であると思います。2022年度入学生よりこの新カリキュラムを効果的に運営できるようにカリキュラム担当を中心に随時評価していく必要があります。

さらに、＜IV-3 入学前抜の公平性・妥当性＞が4.1と昨年度より0.4上昇しました。入試委員が中心となり、本校のアドミッションポリシーに沿うより良い学生を確保しようと教員全体で協力し運営できたことや、近年定数確保が難しい現状の中、学生の特性を踏まえて良いところを見出す面接を意識して実施したことが定数確保につながった要因であると考えます。今後さらに学生確保が厳しくなることが予測されることから、本校の魅力がわかるような「オープンキャンパス」や「ホームページ・学校案内のパンフレット」の工夫等を入れていく必要があると考えています。

一方、＜IV-5. 地域社会との交流・貢献＞が一昨年よりさらに-0.3、＜III-4. 卒業後の学生評価＞が-0.2と低下しました。コロナ感染症拡大による影響が2年間に及び、特に臨地実習が臨床現場でできた体験は、全体の半分程度であり、対面授業が減少しオンライン授業が増えたことによりものと考えます。感染予防のために、近隣の人々と直接的な交流ができない状況です。次年度は新カリキュラムの単元「地域と社会」の学習が加わり、学生だけでなく教職員も学生の学びを共有できる機会を作っていくことも必要と考えます。また、卒業後の学生へのフォローは、IMS看護部の学生担当が中心に行っているため卒業後の学生状況把握のためにも情報交換の機会を設けるなど連携をしながら卒業生が看護師として継続できるようにフォローしていきます。

＜III-3 国家試験対策の妥当性＞は昨年度より0.2上昇し3.8でした。昨年度と同様に感染予防のため登校でできるだけ控え、オンラインで教員が担当学生を決め学習のサポートをする方法をとりました。国家試験の結果は、第1学科97.5%（81名受験）第2学科95.2%（21名受験）でした。（全国平均91.3%、新卒者96.5%）次年度は第1学科のみとなり、校内を夏休み中に改築し「学習室」を増設します。学生が主体的に、そして効果的に学習できる環境づくりの土台を構築していく予定です。さらに、本校の未来像についても検討し、現代の学生の特性を踏まえた教育体制を築いていきます。